

学校再編（小学校の統合）に向けた住民説明会 【議事要旨】

1 日時

令和8年8月4日（火）19時～20時30分

2 場所

南港桜小学校 体育館

3 参加者

地域・保護者等の方々 42名

4 出席者

【住之江区役所】

藤井 住之江区長

玉置 住之江区副区長

藤原 住之江区子育て支援・教育担当課長

村田 住之江区子育て支援・教育担当課長代理 外5名

【教育委員会事務局】

山崎 総務部学校適正配置担当課長

狩野 指導部指導主事（初等・中学校教育担当） 外3名

【地域】

川邊 さざんか花の町協議会会長

和田 さざんか花の町協議会副会長

5 配付資料

「南港北中学校区小学校の今後の学校再編について（素案）」

「隣接型小中一貫校の設置に向けて（イメージ案）」

6 説明会の概要

（1）開会

（2）区長挨拶

（3）区役所からの資料説明

（4）質疑応答

7 主な質疑応答の内容

統合の必要性やめざす方向性に関するご質問・ご意見

(1) 廃校になった府立咲洲高校の跡地がそのままになっており、カラスの住処になっているような状況がある。南港桜小学校も廃校になると、いずれそうになってしまうのではないかと。本当に特色あるこの地域をめざして、小中一貫校にしたメリットを区外に広めて、多くの人がここに住みたいと思うようなまちづくりをめざしていけるのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・咲洲高校跡地につきましては、大阪府の管轄であり、現時点では、マーケットサウンディング（市場調査）を行い、どのような活用が可能か検討していると聞いています。咲洲地域には、咲洲みなみ小中一貫校に加え、今後は南港北中学校校区の小中一貫校という、学校の魅力や特色を出しながら、今後のIRも含めた、今後のまちづくりの活性化においても、一緒に盛り上げていきたいと思っております。

・府警宿舎につきましても、大阪府の管轄であり、解体していると聞いており、今後より多くの若い世代に選ばれる、あるいは住みやすい街として、魅力を上げていきたい。今でも十分ポテンシャルがありますが、そのような資源を含めて、区役所としてもまちづくりの需要喚起を行いながら、発信もしていきたいと考えております。

(2) 企業連携とあるが、具体例を教えてください。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・小・中学校の授業で企業連携ということで、企業で実際に働いている方に来ていただいて、例えばミズノではどのような仕事をしているか、グローブを作っている方、営業の方、スポーツアドバイザーやいろいろな職種の方が、実際にどんなことをやっているのかといったことや、あるいはカナデビアなど、実際に橋を作っておられる方、そういった業務に携わっている方から直接お話を伺い、この職につくにはこういった勉強をしてきたというようなところなどから、授業との関連性も持たせて、将来この仕事に就きたいというようなキャリア教育が可能と考えています。他にも、施設の職場体験や、施設の見学をさせていただいたりといった交流もすでにあり、南港北中学校校区の近くには多くの企業があり、多くの魅力があると考えています。

統合の進め方に関するご質問・ご意見

(3) 敷地が隣接した小中一貫校とのことだが、今後改修で校舎を統一することを考えているのか。それとも既にある校舎を使っていくのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・南港光小学校の校舎では、統合後に見込まれる児童数を全員受け入れられるよう、特別教室などを普通教室に変更するなどの教室改修を行う予定です。

(4) 案として、①案「統合校を南港桜小学校敷地で開設し、南港北中学校との小中連携した学校とする」②案「統合校を南港光小学校で開設し、南港北中学校との小中一貫校（隣接型）とする」とあったが、説明において②案に偏りがあったと思われる。これは②案で決定ということで進められているのか、それとも、①案と②案がフラットな状態で検討されるのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・今後、それぞれの案について「どんなメリットがあるか」「どんな影響が考えられるか」を、教育委員会とも相談しながら整理し、再編整備計画（案）としてまとめていきます。そのうえで、本日いただく皆さまのご意見も踏まえ、最終的に決定したいと考えています。

・なお、区役所としては、子どもたちの教育環境の面から②案がよりよい案と考えていますが、現時点で確定したものではありません。

(5) 統合のスケジュールについて、令和12年度からの統合ということは予算要求が令和8年度になると思う。スケジュール通りに進んでいくというふうに考えているのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・予算要求、設計、工事という流れで、教室改造含めて、3年から4年かかると想定しております。工事の関係のため、伸びることもあり得ますが、基本的には、このスケジュールで教育委員会とも調整をしております。

(6) 南港北中学校の敷地を通して登校も可能とするということだが、今隣接している部分にある仕切り（フェンス）がなくなって正門から入ることか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・隣接する南港北中学校と南港光小学校のフェンスですが、撤去して整備する形で進

めたいと考えております。施設をより一体的に使えるように、メリットを生かしながら進めていきます。通学時に敷地内を通ることによって、児童の安全を確保できるように考えております。

(7) 跡地に関する検討会議を立ち上げるということだが、具体的に今後の4年間くらいで行われる予定か。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・学校跡地につきましては、学校再編整備計画が策定できたら、できるだけ早い時期に、いろいろ相談させていただきながら、跡地活用検討会議を立ち上げ、ご意見をいただけたらと考えております。

統合後のあり方に関するご質問・ご意見

(8) 制服は決定しているのか、検討中か。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・学校再編整備計画を策定した後、「学校適正配置検討会議」において、制服の有無も含め、地域の皆さまや保護者のご意見を伺い、検討していきたいと考えております。

(9) 学校体育施設開放事業で、南港桜小学校の体育館でバドミントンをしている。南港光小学校と南港北中学校の小中一貫校になった場合は、今後活動を継続しているのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・今活動されているコミュニティの一環のところで、学校体育施設開放事業や、地域の防災拠点というところで、地域にとっても重要な場所と考えております。閉校後の学校の跡地は、区役所として、すぐに売却とは考えておりません。

・今後の跡地活用につきましては、跡地活用検討会議という別会議を立ち上げ、地域の皆様に参画をいただき、ご意見をいただき、今後の活用について、一緒に考えさせていただきたいと考えております。

(10) 通学路について、南港光小学校と南港北中学校の隣接型小中一貫校が有力だと思うが、コスモスクエアから通う生徒の場合、通学時間も長くなる。中ふ頭のエリアから南港桜小学校もだが、南港北中学校の生徒が通っているような通学路になる。車が通る横断歩道を渡るのは低学年だと負担も大きく、心配な部分もある。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・通学路については、適正配置検討会議のなかで、皆さんにご意見をいただき決めていくこととなります。想定として、ニュートラムの活用も検討できると考えています。実際に7時半から8時頃にコスモスクエア駅へ見に行くと、現在通学にニュートラムを使われている子供さんはきっちり並んでおられて、通学しているところも見ております。より安全な通学を確保するために、皆さんのご意見をいただき、子供たちにとってより安全な通学路を設定していきたいと考えております。

その他のご質問・ご意見

(11) 咲洲みなみ小中一貫校が開校してから、小中一貫校の問題点はなかったか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・咲洲みなみ小中一貫校の先生方にメリット・デメリットを伺ったところ、運動会や行事等での学年交流が活発で、縦のつながりが強い点が大きなメリットだそうです。下級生は上級生に憧れを持ち、上級生は「お兄さん・お姉さん」としての自覚やリーダーシップが育ちやすいと聞いています。

・あえて課題を挙げると、一般的な小学校では6年生が「小学校で一番上」という意識を持ちやすいのに対し、小中一貫校ではその感覚が弱くなる可能性があります。これについては、運動会などを小学校の枠組みで行い、6年生が「小学校のトップ学年」として役割を担う場面を意図的につくことで補っているとのこと。開校から約10年が経っていますが、現時点では大きなデメリットは特に聞かれていない、というのが学校側の認識です。

(12) 「現2年生を含む将来の入学生が卒業までに多様な仲間と触れ合えるよう、令和12年度の統合をめざす」とあるが、「現2年生」というのは何を基準に決められたのか。

(住之江区役所 藤原子育て支援・教育担当課長)

・具体的には、南港光小学校の令和8年度の児童数が、小学校2年生6名となっています。なんとかこの2年生が卒業するまでに、児童どうしがふれあえる一定規模の集団の確保が必要だと思っております。

8 区長挨拶 要旨

本日は、様々なご質問、ご意見をいただきありがとうございました。

みなさんのご質問、ご意見を伺いまして、改めて南港の地域を思う熱い想いと意思を感じることができ、大変ありがたいと思いました。

今回学校の統廃合という苦渋の決断ではありますが、将来、2つの学校を1つの学校にすることを、「マイナス」とは捉えず、子どもたちが、より多くの仲間と触れ合っ
て切磋琢磨していくことができるという「プラス」に捉えていく、そして、特色ある
学校をつくっていくというような、そんなベクトルで進めていきたいと思っていま
す。校舎等の教育環境の施設を整え、市内10校目となる特色ある小中一貫校として、
これまで以上に魅力ある学校に変えていくという強い思いです。

本案が現状から鑑みた、将来を見すえた最善のベクトルと考えております。どうぞ
ご理解と今後のお力添えをよろしくお願い致します。

今後、学校再編整備計画（案）を策定してまいります。

また、跡地となる可能性のある南港桜小学校については、区役所といたしましても
地域の防災拠点、地域コミュニティの場であることを認識したうえで、有効活用を検
討したいと考えております。今後、花の町の代表の方々にご参加いただく「跡地活用
検討会議」という会議体を立上げて進めてまいります。

また、それとは別に、統合後の学校づくりについても、今後、花の町・太陽の町や
PTAの代表の方々にもご参加頂き、より良い環境整備に向けた「学校適正配置検討会
議」を立上げて参ります。引き続きのご協力よろしくお願い致します。

今後も様々なご意見をお伺いした上で、区長・区担当教育次長としての方針案を決
めてまいりたいと考えております。本日は大変暑い中、長時間に渡り、多くのご意見
を賜りどうもありがとうございました。引き続き、ご理解と今後のお力添えをいた
だきますようよろしくお願い致します。